

編集後記

読者の皆さんお元気でしょうか。今これを10月終わりのころ書いています。だんだん寒気が増していくこのごろです。

今回の1月号は、盛り沢山な内容になった気がします。目玉は、建山先生と油田先生のインタビューではないでしょうか。新年号なので、今後の建機について、明るく夢のある話題が載せられないかということで企画されました。両先生には、ホットな話題を提供していただきありがとうございました。

できるだけ、建設機械関連の最新の話題を幅広く集めたいと思いましたが、新聞、各種展示会、新機種紹介記事などの情報、編集委員のご協力により何とかなったようです。いくつも紹介していただいた方には、感謝します。ここ数年の日本の建設機械の現状の一端を紹介できればと思っています。

行政情報には、経済産業省より寄稿いただきました。省エネ型建機の導入促進に関する情報です。

報文も今回は、16編ほどあり、通常より多くなっています。報文の内容は、新しい高度な土木技術、新製品、情報化施工、ロボット化、機械の開発、部品管理、安全システムなどに関連するものです。平成23年から平成26年3月ころまでの情報ですので、まだ新しいのではないのでしょうか。何かお役に立てれば幸いです。

交流の広場は、(株)アイザック様の原稿だけの予定でしたが、ちょうど南極点到達雪上車が2014年度機械遺産に認定されたというニュースがありましたので、追加し、通常1本のところが2

本になりました。自画自賛ですが、機械遺産の話は、新年号にふさわしい気がします。除雪ロボットもユニークなものです。ロボットは、いろんな企業が手がけており、ロボカップなども開催されて、非常に幅広い裾野を持っているようです。ベンチャー企業の活躍の場でもあります。日本の底力を感じました。新しい芽が出てきているようです。

随想は、常田様に平成26年7月号に執筆していただきましたが、再度の依頼に快くお引き受けいただきありがとうございました。

総じてハイブリッド建機、情報化施工、ロボットなどが、これからの大きな流れになるのかなと感じました。

究極的には、無人の建機が稼働する世界が来るような気がします。現場には、人間は居なくて、粛々と作業が進められる。そうすると、建機に求められる機能も変化していくでしょう。オペレータでなく、周辺の住民や環境への配慮のみが必要となる。どういう方向に発展していくのか、わかりません。分野、機種、作業の単純性などによって歩みは、異なっていくのは想像できます。格段に制御関係の技術が進歩しないと実現は難しいということでしょうか。油田先生が言われるようにロボットの作業環境からの歩みよりも大きなポイントです。必要な技術が熟してきたときに、自然とそういった方向に何か組織的な動きが加わって、大きな方向転換が起こるのかもしれない。雑駁、勝手な想像で申し訳ありません。

今回執筆いただいた方々、仲介の労をとっていただいた各社広報関係の方々に厚く御礼申し上げます。

(江本・石倉)

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
塚原 重美	中岡 智信
中島 英輔	橋元 和男
本田 宜史	渡邊 和夫

編集委員長

田中 康順	鹿島道路(株)
-------	---------

編集委員

吉田 潔	国土交通省
三浦 弘喜	農林水産省
伊藤 健一	(独)鉄道・運輸機構
篠原 望	鹿島建設(株)
立石 洋二	大成建設(株)
藤内 隆	清水建設(株)
赤井 亮太	(株)大林組
久保 隆道	(株)竹中工務店
安川 良博	(株)熊谷組
川西 健之	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
岡田 英明	五洋建設(株)
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
相田 尚	(株)NIPPO
岡本 直樹	山崎建設(株)
太田 順子	コマツ
大塚 清伸	キャタピラー・ジャパン(株)
小倉 弘	日立建機(株)
上田 哲司	コベルコ建機(株)
石倉 武久	住友建機(株)
原 幹生	(株)KCM
江本 平	範多機械(株)
竹本 憲充	施工技術総合研究所

事務局

日本建設機械施工協会

2月号「エネルギー・エネルギー施設特集」予告

- ・小水力発電の普及への取組
- ・下水熱利用 活用に動き出す都市の埋蔵熱源
- ・遊休地を利用したメガソーラ
- ・波力発電に関する技術報告
- ・水中浮体方式の海流発電システム
- ・神鋼・東芝、南あわじバイナリー発電 実験設備が試験運転
- ・温泉バイナリー発電の試み
- ・省エネからゼロエネへ ZEB実証棟の建設
- ・建設機械へのバイオディーゼル燃料の普及に関する研究
- ・管路内設置型熱回収技術を用いた下水熱利用
- ・国内初の下水道管からの熱利用
- ・日本最大級の槽設備を使用した大深度立坑の施工

建設機械施工

第67巻第1号(2015年1月号)(通巻779号)

Vol.67 No.1 January 2015

2015(平成27)年1月20日印刷

2015(平成27)年1月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 一般社団法人日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154

電話 (0545) 35-0212

北海道支 部 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2-8

電話 (011) 231-4428

東北支 部 〒980-0802 仙台市青葉区二丁目16-1

電話 (022) 222-3915

北陸支 部 〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1

電話 (025) 280-0128

中部支 部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-17-10

電話 (052) 962-2394

関西支 部 〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4

電話 (06) 6941-8845

中国支 部 〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22

電話 (082) 221-6841

四国支 部 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22

電話 (087) 821-8074

九州支 部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-4-30

電話 (092) 436-3322

本誌上への
の広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中